

きつおん 吃音に関する Q&A ?

きつおん Q:吃音とはなんですか？

A:吃音とは、滑らかに言葉が出てこないことです。言葉を発する際に、音をくり返したり引きのばしたりつまらせたりする症状があります。

【吃音の種類】

① くりかえし … 「おはよう」 → 「お、お、お、おはよう」



② ひきのばし … 「おはよう」 → 「お〜〜〜はよう」



③ ブロック(つまり) … 「おはよう」 → 「……おはよう」



※吃音のある人は、100人に一人ぐらいいると考えられています。
そう考えると日本全体で、120万人ぐらいはいると思われます。

イラスト出典:都難言協 HP [「吃音リーフレット①」](#) [「吃音リーフレット②」](#)

Q:何が原因で吃音になるのでしょうか？

A:吃音の原因は、生まれつきの体質によるところが大きいです。保護者の方の育て方や関わり方などは吃音になる原因にはなりません。

Q:吃音は治りますか？

A:吃音は、約8割が自然に治ると考えられています。しかし、吃音が始まってから3年を超えると、治る確率は著しく下がり、5年を超えると症状がゼロになるのは難しいと考えられています。

Q: きこえとことばの教室ではどのようなこと

をしますか？



A: 以下のような内容について指導や支援を行います。(お子さんによって多少内容は違います)

- 吃音に関する基礎知識や吃音で困ったときの対処法
- 吃音を一時的に軽減する話し方
- 吃音があるお子さん同士のミニグループ活動
- 自分の話し方のことを周囲に説明できるようにする
- 在籍学級の先生方と情報交換、配慮のお願い
- 周囲のお子さんたちに吃音について理解を深めてもらうための出張理解授業

Q: 家庭ではどのような対応をしたらよいですか？



A: 以下の点に気を付けて接してあげてください。

- ① 吃音が生じても、言葉の先取りはせず、**最後まで話を聞いてあげてください。**
- ② 吃音は不安が原因では無いため、「リラックスして」「落ち着いて」といった声かけは**しないようにお願いいたします。**
- ③ **吃音について普段から話題にしてください。**そうすることで、お子さんが吃音で困ったときに保護者にヘルプを出しやすくなります。

Q: 担任として、学級ではどのようなことに気を

付けたらよいでしょうか？



A:基本的には、ご家庭での対応についての①②については同様の対応をお願いいたします。他には以下の点について注意してください。

- ① 吃音のことでからかい等があった場合は、**からかった子へ毅然とした対応をお願いいたします。**
- ② 日直や発表などで、**吃音が出ても最後まで笑顔で聞いてください。**吃音が出た、出ないについてコメントするのではなく、発表の内容についてコメントしてください。
- ③ **誰かと一緒に声を合わせて読んだり発表したりする方が、吃音は出にくくなります。**本人が困っている場合は、どのやり方ならできるか相談してください。
- ④ お子さんによっては、特定の言いにくい言葉がある場合があります(あ行が言いにくいなど)。**セリフなどで言いにくい言葉があった場合は、違う言葉に変えるなどの柔軟な対応をお願いいたします。**
- ⑤ 九九のテストなど、速く言わなければならないテストの場合は、**時間を十分にとるなどの対応をお願いいたします。**
- ⑥ どのような場合でも、お子さんに直接聞いて話し合ってください。困っていることがあれば、当教室の担当にご相談ください。

☆子供たちが安心して学級で過ごせるよう、

きこえとことばの教室は支援していきます☆

